

マイタイムライン作成地区別ガイドライン
〈今沢地区〉

今沢地区について

原西部地区で高橋川と合流する沼川は、ほとんど勾配がないため、大雨の際には山地から一気に流れ出た雨水をスムーズに海へ排出することができず、低地帯が続く今沢地区は広く冠水することが多く、地区のほぼ全域が浸水想定区域となっています。

地区の東部では新中川の影響も想定されていますが、沼川・高橋川の影響が最も大きく、令和3年7月豪雨では、沼川・高橋川の氾濫を起点として床上浸水が多く発生し、甚大な被害をもたらしました。

1 該当する単位自治会

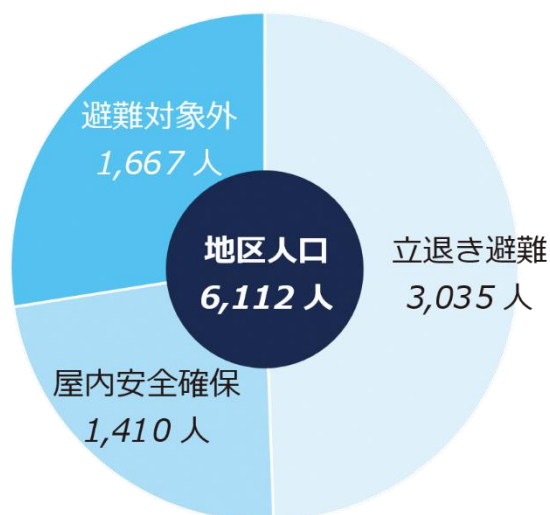
今沢、今沢市営団地、今沢県住、中今沢、北今沢、三本松

2 地区内で洪水浸水を及ぼす河川

沼川、高橋川、新中川

3 地区周辺の雨量

- 令和元年 10 月台風 19 号
165.0mm (10/11~12 日)
- 令和 3 年 7 月豪雨
382.0mm (7/1~3 日)
- 令和 3 年 9 月豪雨
105.0mm (9/1~2 日)



図：地区の避難人口の割合

4 地区の避難人口と指定緊急避難場所

地区内の避難人口は、立退き避難が 3,035 人、屋内安全確保が 1,410 人、合計 4,445 人となっています。今沢地区の人口は 6,112 人のため、7 割超の方が立ち退き避難又は屋内安全確保が必要な状況です。

指定緊急避難場所として今沢地区センター、今沢小学校、今沢中学校を指定しています。

市が避難情報を発令したときは今沢地区センターを避難場所として開設します。

自主避難者がいたり、地区センターだけでは避難者を受け入れられないときは、今沢小学校、今沢中学校を開設します。

今沢地区センター、今沢小学校は洪水浸水想定区域内に立地するため、状況に応じて上層階への避難が必要です。

避難場所	延べ床面積（㎡）	※収容人数（人）
今沢地区センター	1,497	317
今沢小学校	5,140	1,090
今沢中学校	7,739	1,641

※収容人数は感染症等に配慮しない形での目安

5 洪水地区タイムライン例

地区を横断する沼川周辺の低地帯において、道路冠水や床上浸水被害が頻発しています。

特に沼川沿いは河岸浸食による家屋倒壊等が想定されています。

洪水による浸水深は1～3mで、浸水継続時間は概ね半日～1日となっています（いずれも想定最大規模。場所によって1日～3日となる可能性あり。）。

水位状況は静岡県サイポスレーダーやテレビのdボタン等から最新の情報を確認できます。

河川名称 観測所	警戒 レベル	沼川 今沢橋	高橋川 青野	新中川 丸子橋	対応
堤防高	5相当	－	4.2m	4.1m	自宅が浸水していないならば最新の注意を払って立退き避難 避難行動要支援者がいる場合は2階以上など自宅の高い場所に避難 河川の付近に居住していてすでに付近が浸水している場合は立ち退き避難はしない
氾濫危険 水位	4相当	－	3.0m	2.73m	避難要支援者は避難開始 健全者も立退き避難または屋内安全確保により全員が安全な場所へ避難する
避難判断 水位	3相当	－	2.2m	1.8m	連合自治会長は単位自治会長に、必要に応じ公民館や自治会館を避難所に開設するよう依頼 避難行動要支援者は避難を検討 市の避難所が開設された場合は必要に応じ民生委員や防災指導員等と協力し避難行動要支援者に声掛け又は同行避難
氾濫注意 水位	2相当	2.0m	1.8m	1.8m	情報ツールによる大雨や気象情報等の状況確認開始 非常持ち出し品の準備
水防団待 機水位		1.5m	1.5m	1.8m	避難行動要支援者は立ち退き避難の準備、2階以上に住居がある人は2階以上へ移動 民生委員や防災指導員と協力し避難行動要支援者への声掛け

6 沼川（高橋川）流域豪雨災害アクションプランより

平成 20 年に策定された沼川（高橋川）流域豪雨災害アクションプランに基づき、雨水貯留地や沼川新放水路の整備に向けた取り組みが進められています。



7 地区別カルテ

沼川は氾濫危険水位、避難判断水位の設定がありませんが、沼川は増水して水防団待機水位に到達してから急激に増水するため、低地帯の多い今沢地区は浸水被害が発生しやすい状況となっています。（合流する高橋川の避難判断水位到達後に避難開始した場合、15 分で避難所に到達できるか検証したところ、227 箇所の結節点のうち 7 箇所が避難困難の赤色を示しています。）沼川は増水してから氾濫危険水位までに到達する時間が短いため、避難行動要支援者の方は避難判断水位に到達する前に避難を開始する必要があります。

避難の際は隣接する原東部地区、愛鷹地区、片浜地区も洪水浸水想定区域であるため、地区内の避難所だけでなく、安全で離れた地区の知人・友人宅を検討する必要があります。

今沢地区 地区別洪水避難カルテ 基本情報

避難先：今沢小学校（2階以上）

自治会名	A:立ち退き 避難人口	B:避難先 収容可能人数	充足率 B/A
ビレッジハウス今沢、今沢県住、今沢	1,337人	1,090人	82%

避難先：今沢地区センター（2階以上）

自治会名	A:立ち退き 避難人口	B:避難先 収容可能人数	充足率 B/A
今沢市営団地	575人	317人	55%

避難先：今沢中学校

自治会名	A:立ち退き 避難人口	B:避難先 収容可能人数	充足率 B/A
中今沢、北今沢、三本松	1,124人	1,641人	146%

凡例

- 避難先
- 避難対象ノード※1
- 道路ネットワーク
- 道路冠水実績箇所
- 連合自治会境界
- 自治会境界

土砂災害リスク

- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

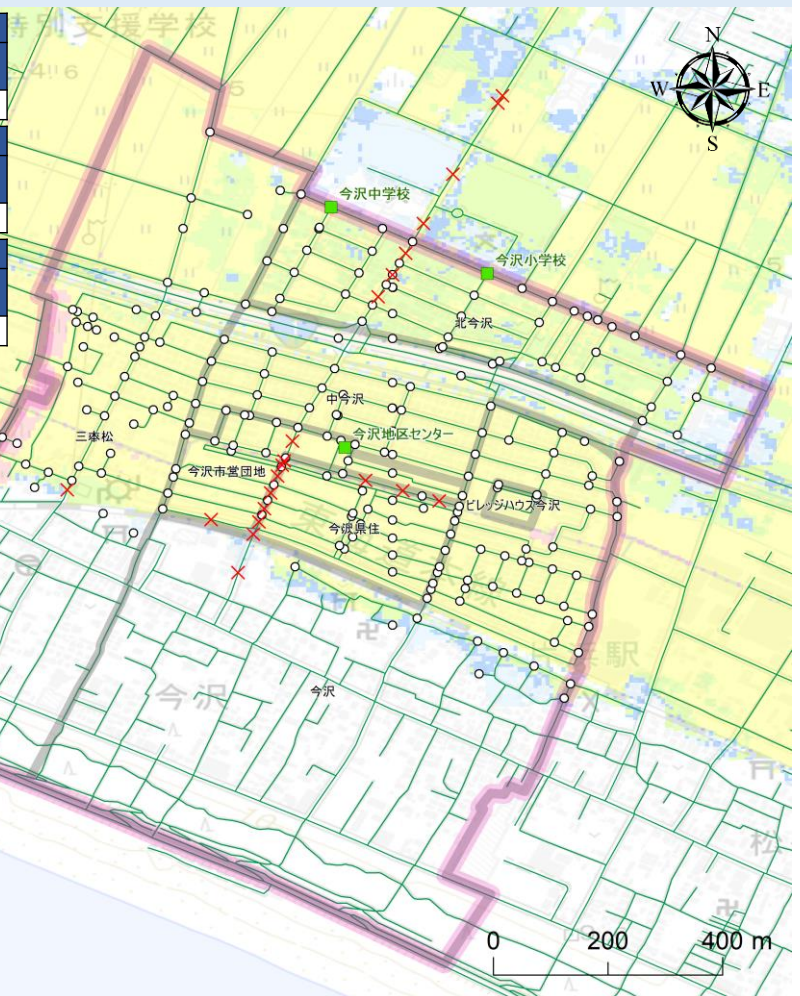
※1 避難対象建物の最寄りの道路ネットワークのノード

凡例

5河川※2の氾濫による浸水リスク
最大包絡 浸水深（想定最大規模）

- 5.0～10.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 1.0～3.0m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 0.3～0.5m未満の区域
- 0.3m未満の区域

※2 沼川、高橋川、新中川、狩野川、黄瀬川



今沢地区 地区別洪水避難カルテ 住民避難シミュレーション結果(冠水実績箇所:通行不可)

避難先：今沢小学校（2階以上）

種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間※3	避難可否
一般者	984m	約17分	15分（沼川、高橋川、新中川）	不可
要配慮者		約33分		不可

避難先：今沢地区センター（2階以上）

種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間※3	避難可否
一般者	412m	約7分	15分（沼川、高橋川、新中川）	可
要配慮者		約14分		可

避難先：今沢中学校

種別	最長避難距離	避難時間	危険水位設定時における避難想定時間※3	避難可否
一般者	1023m	約18分	15分（沼川、高橋川、新中川）	不可
要配慮者		約35分		不可

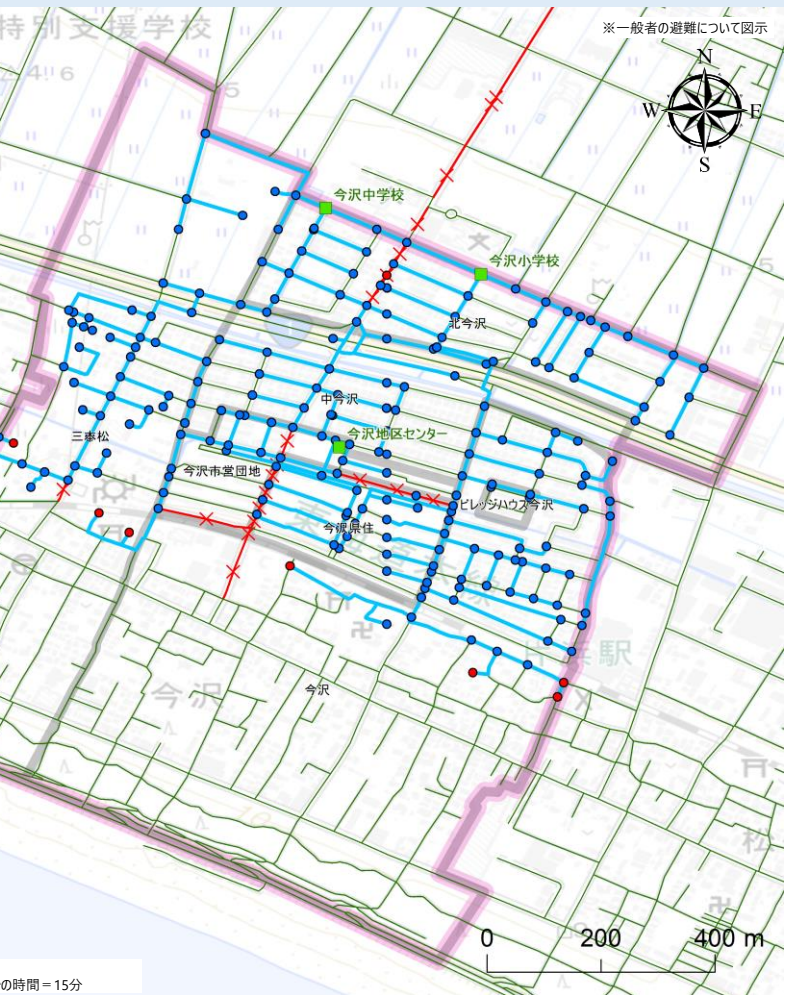
凡例

- 避難先
- 到達可能なノード※1
- 到達困難なノード※1※2
- 避難経路
- 道路ネットワーク
- 連合自治会境界
- 自治会境界

土砂災害リスク

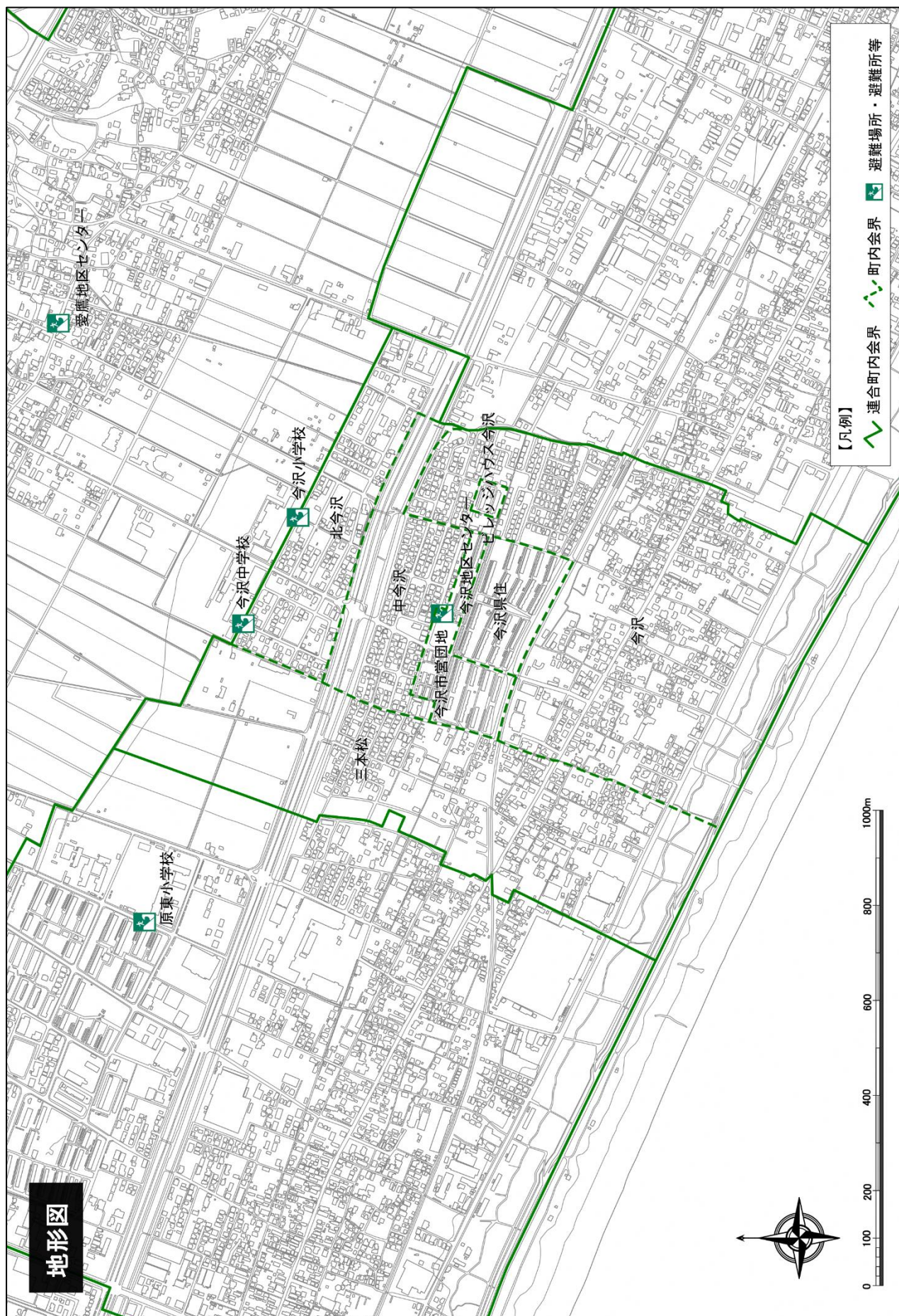
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

※1 避難対象建物の最寄りの道路ネットワークのノード
※2 一般者が最寄りの到達困難なノードと、道路ネットワークの接続により到達困難なノードを含む

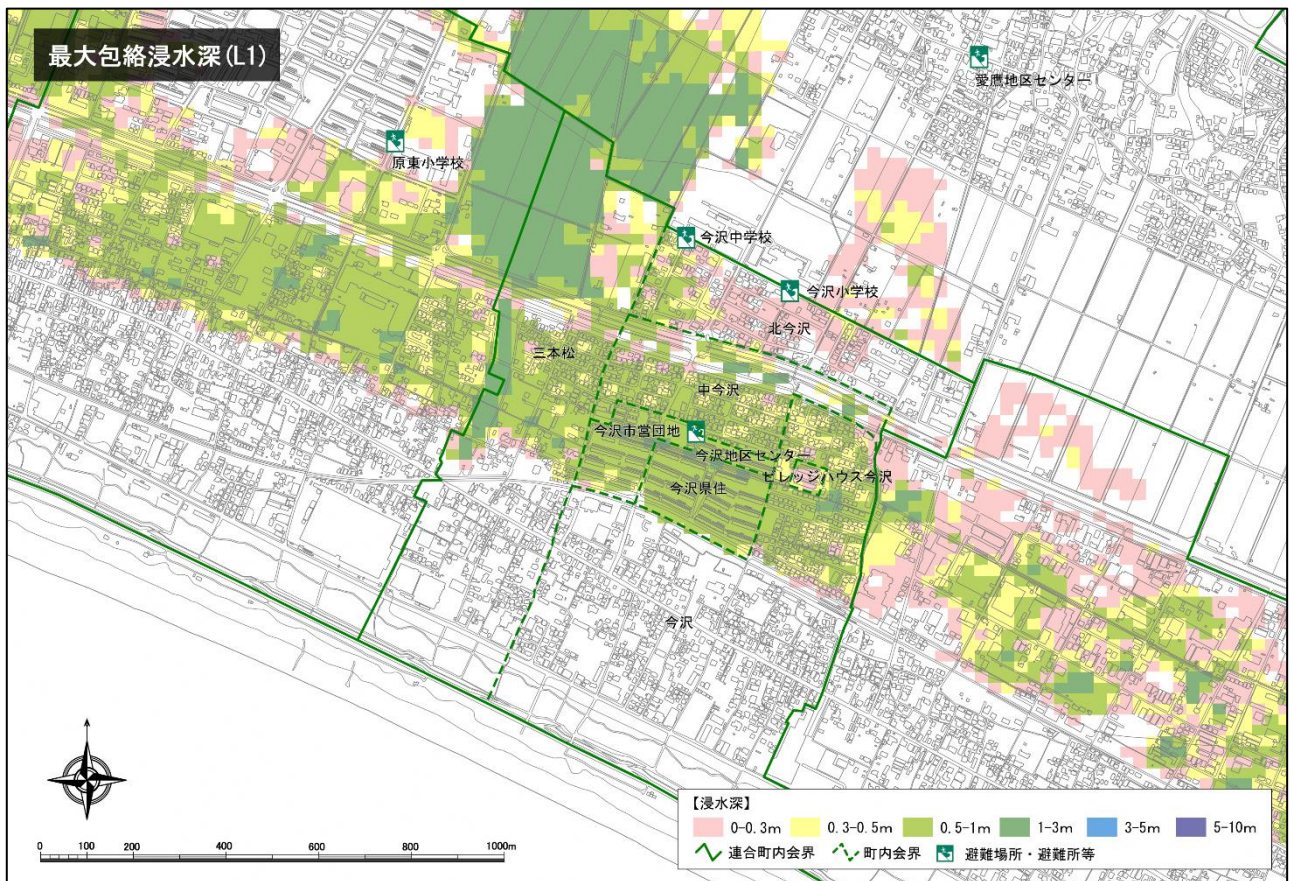
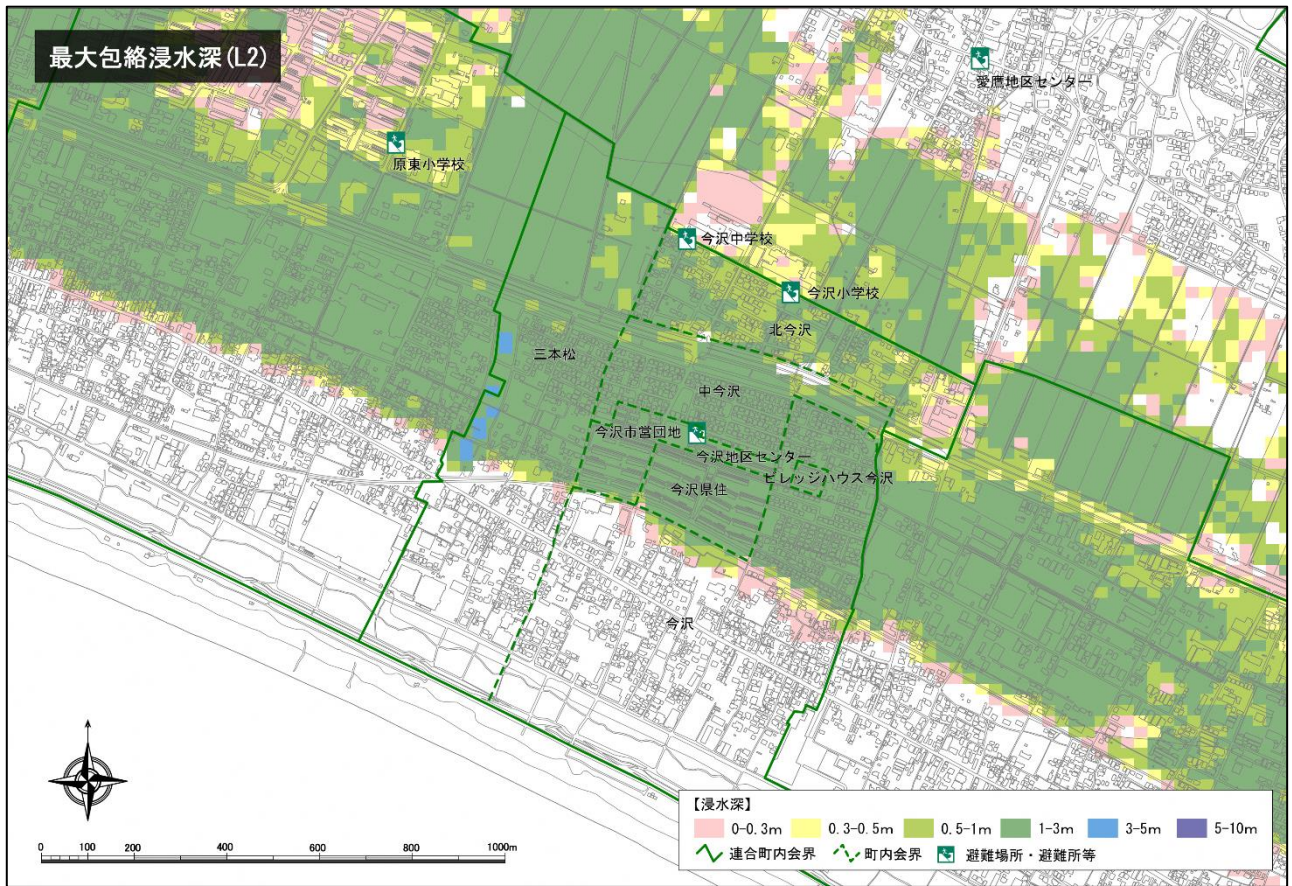


※3 平成22年度一級河川来光川外水害避難支援対策事業に伴う避難判断水位等検討業務委託報告書（3.水位周知(河川)の基本事項の整理【基準水位の検討】）による住民の避難活動開始から避難完了までの時間＝15分

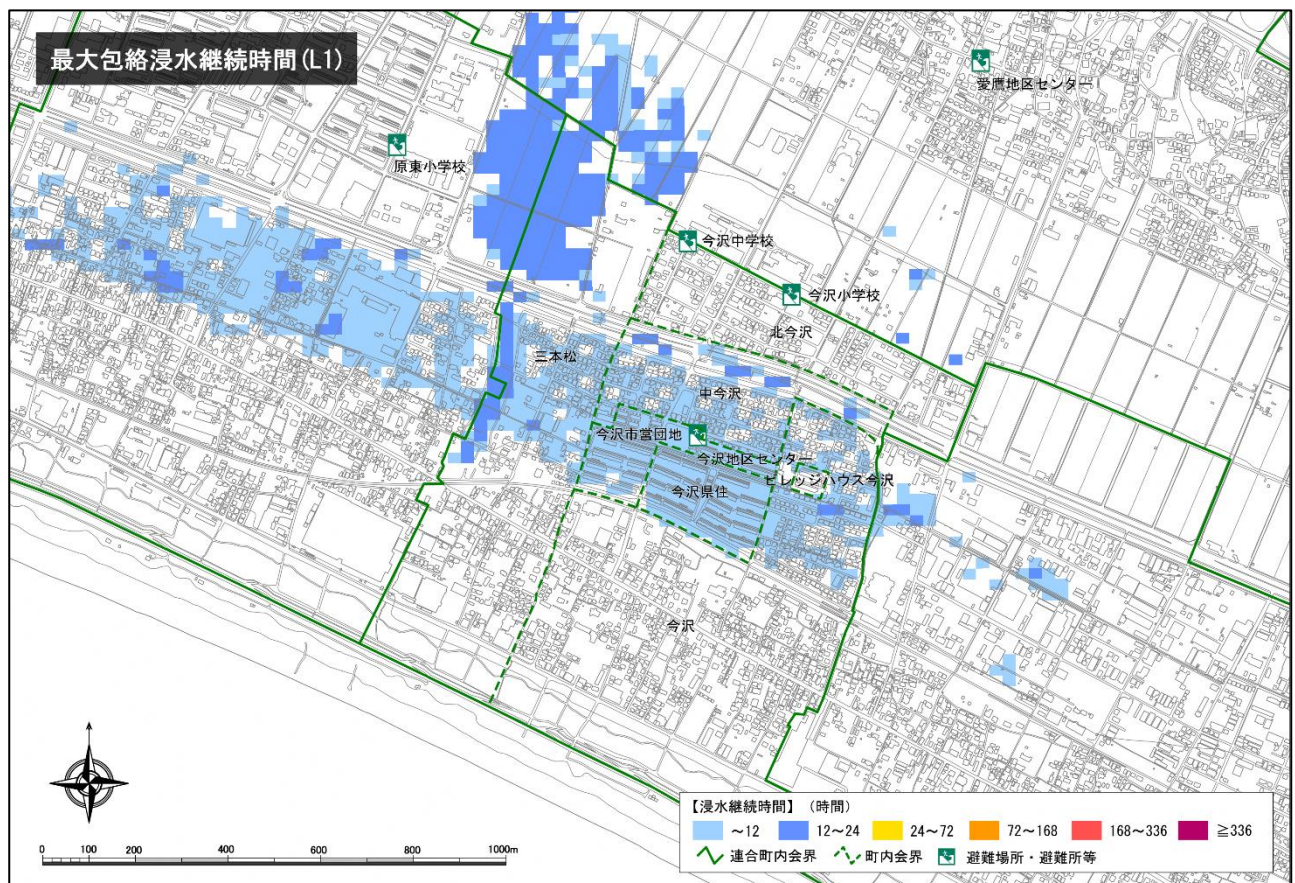
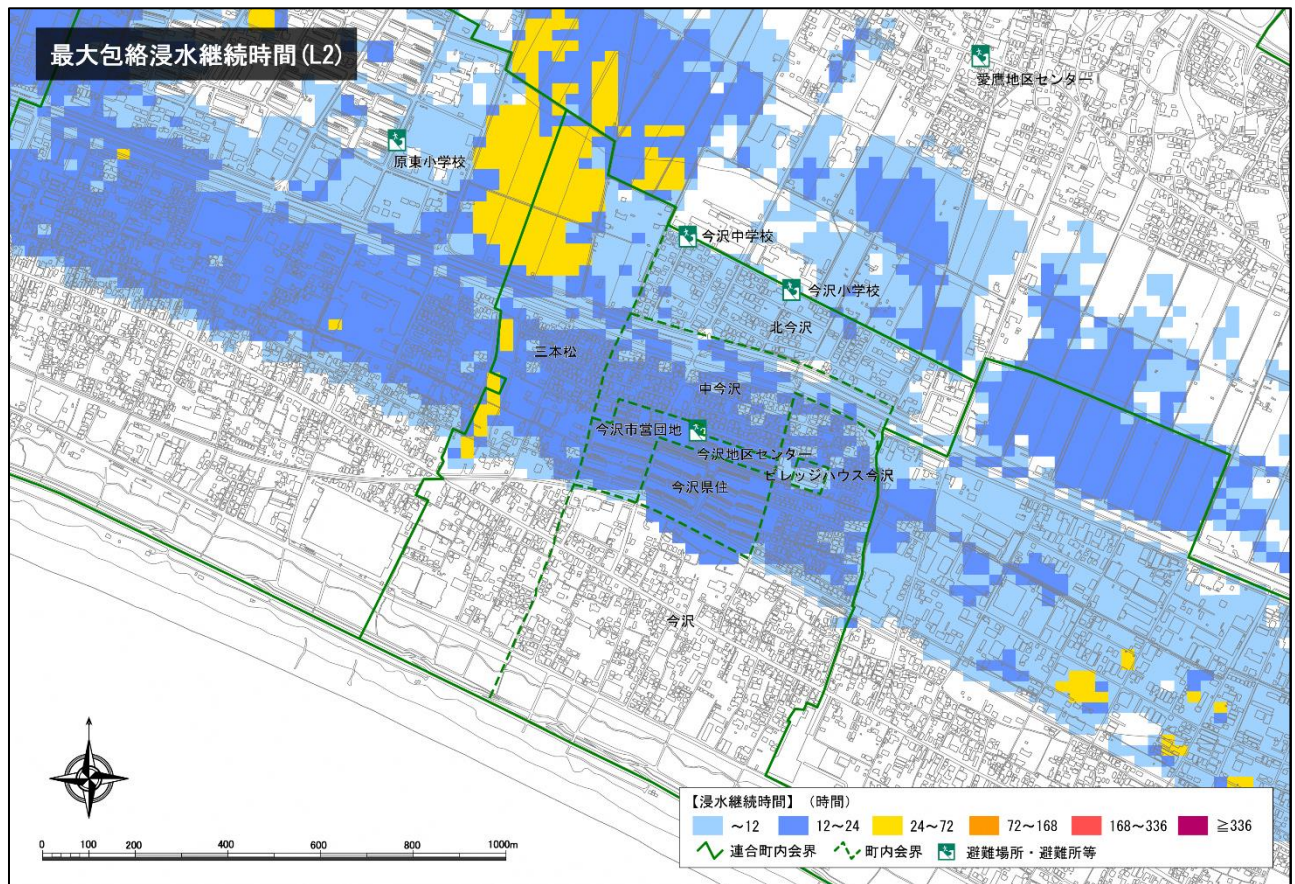
地形図で自宅の位置を確認してみよう



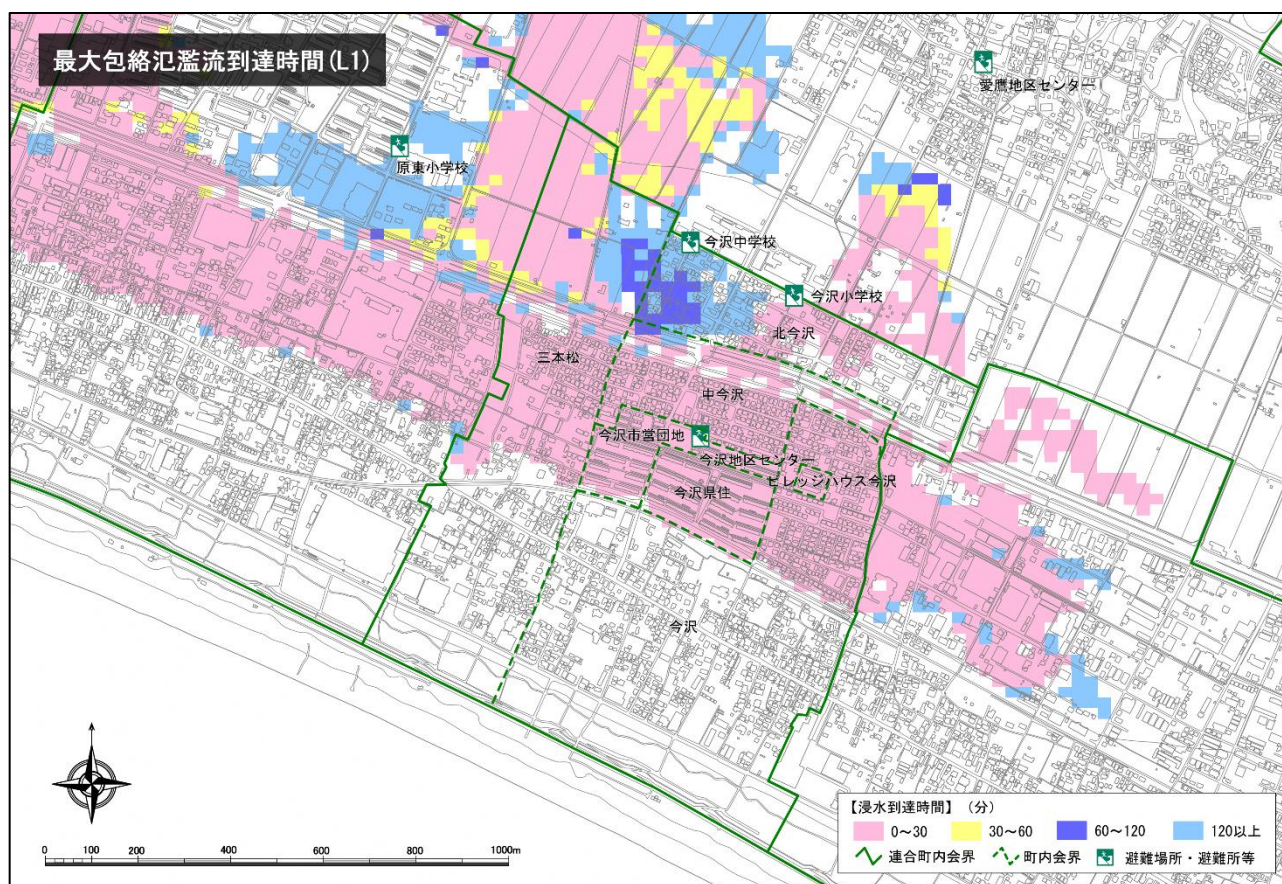
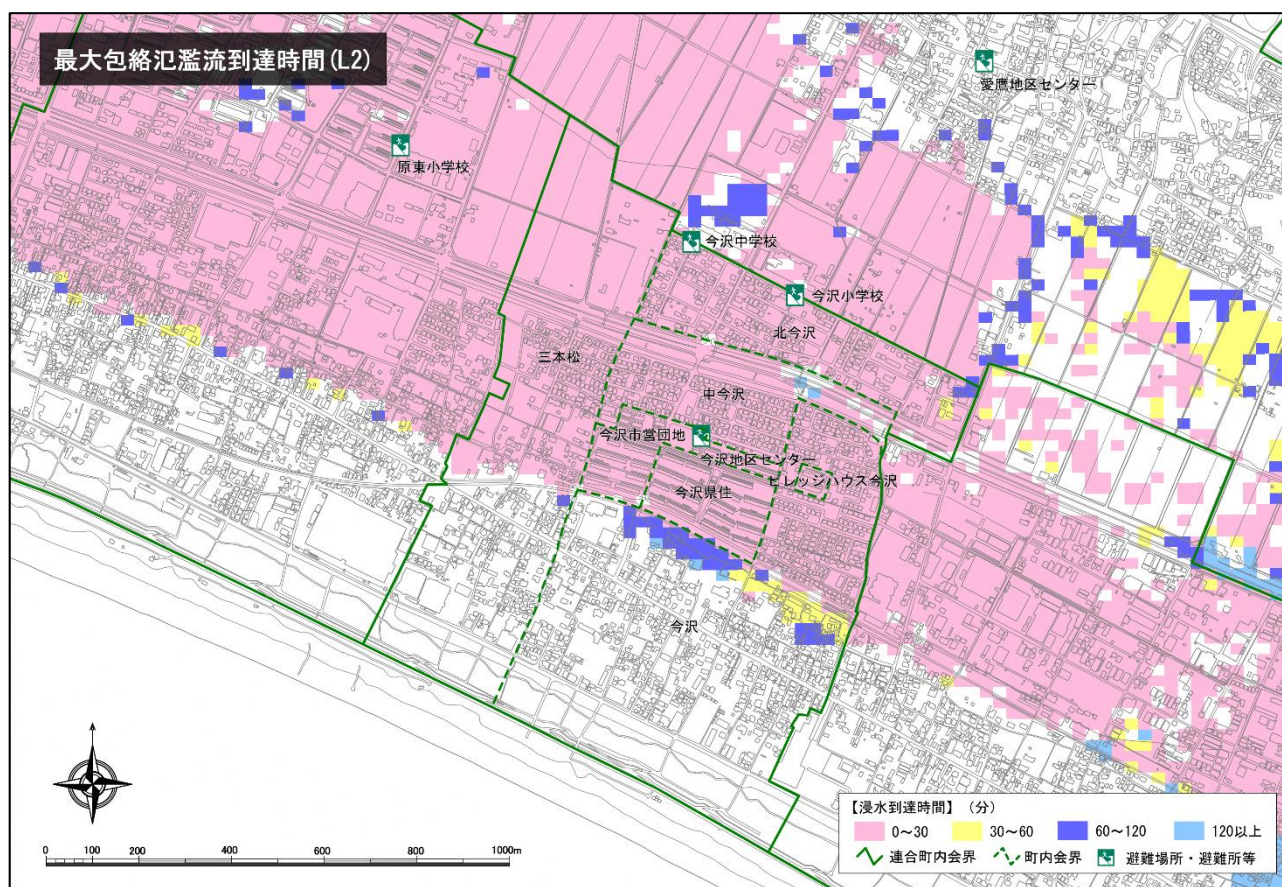
浸水範囲と浸水深を確認してみよう



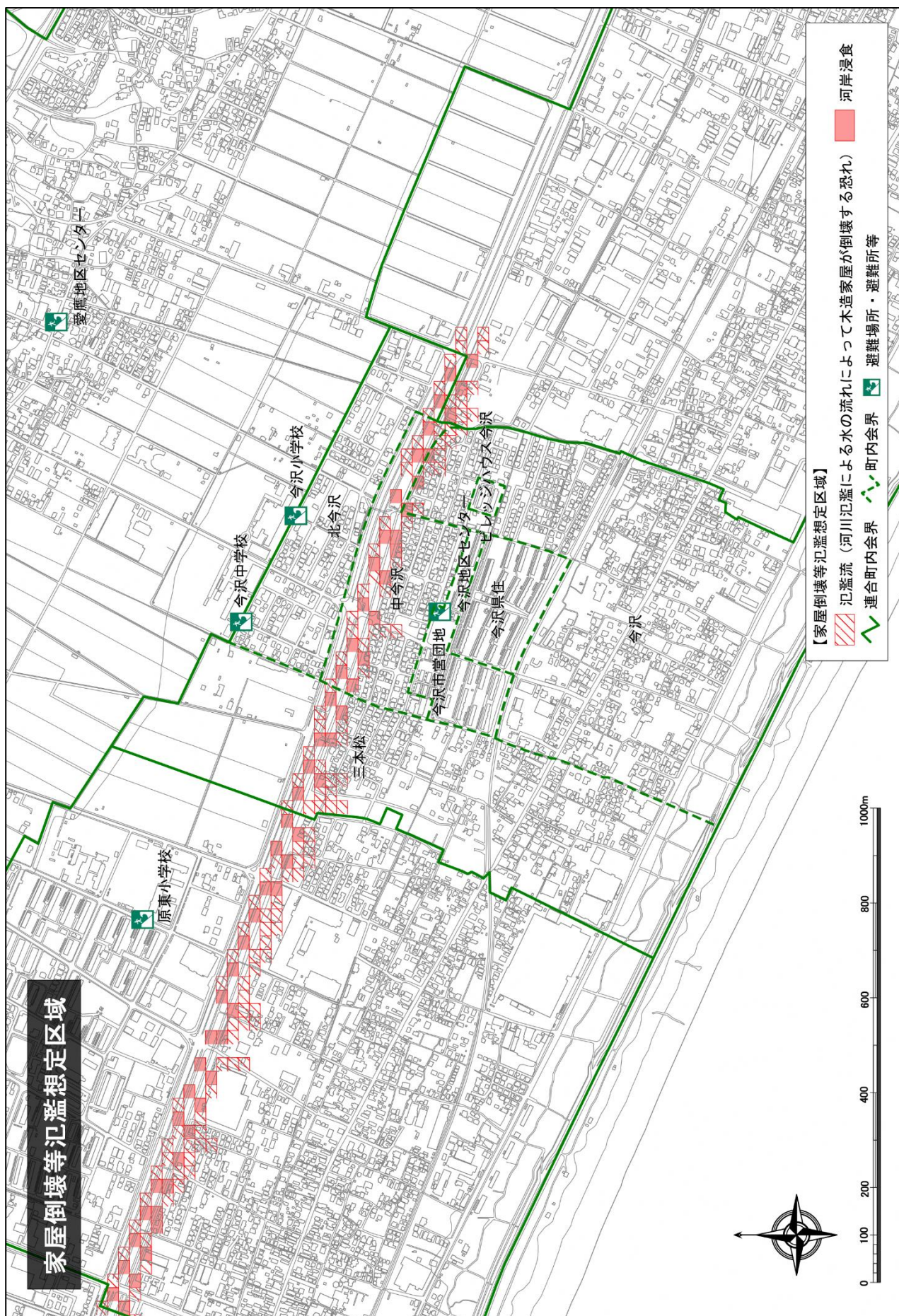
浸水継続時間を確認してみよう



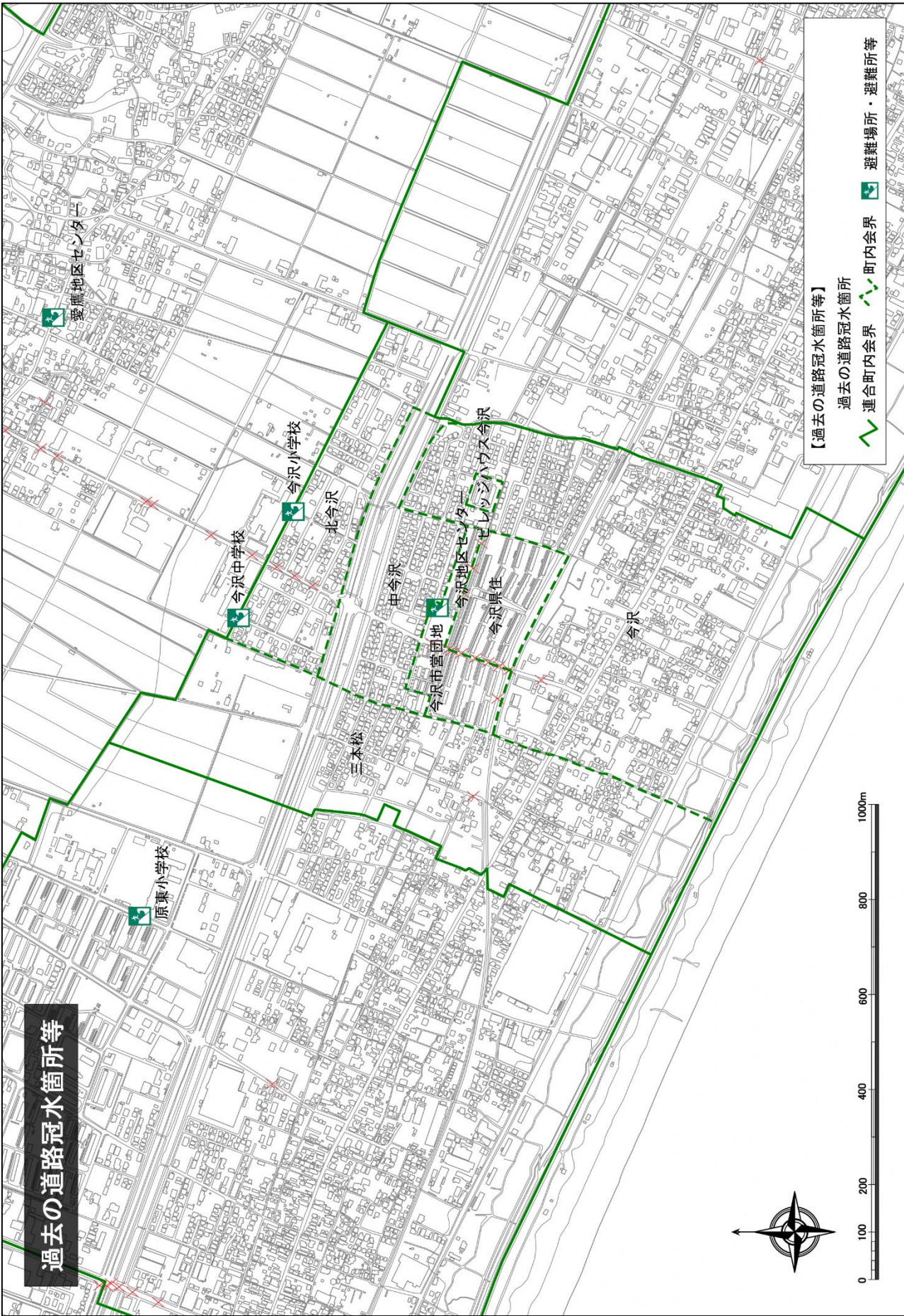
氾濫流到達時間を確認してみよう



家屋倒壊等氾濫想定区域を確認してみよう



過去の浸水箇所を確認してみよう



土砂災害ハザードマップを確認してみよう

